

[概要]

カリキュラムマップは、ディプロマポリシーと各授業科目との対応を明示することで、修了までに身につけるべき各能力を涵養するためにそれぞれの授業科目が果たす役割を示している。

科目区分	研究領域	課程の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)							科目等	
		成城大学大学院				経済学研究科/経営学専攻				
		(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(dp1)	(dp2)	(dp3)		
授業科目	経済学研究科 共通	◎	○	○		○	○	○	税法研究 A	
		◎	○	○		○	○	○	税法研究 B	
		◎	○	○		○	○	○	統計解析 A	
		◎	○	○		○	○	○	統計解析 B	
		◎	○	○		○	○	○	グローバル・スタディーズA	
		◎	○	○		○	○	○	グローバル・スタディーズB	
	授業科目 (専門科目)	経営	○	○	○		○	○	○	経営学研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営学研究 B
			○	○	○		○	○	○	経営組織論研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営組織論研究 B
			○	○	○		○	○	○	経営史研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営史研究 B
			○	○	○		○	○	○	日本経営史研究 A
			○	○	○		○	○	○	日本経営史研究 B
			○	○	○		○	○	○	人的資源論研究 A
			○	○	○		○	○	○	人的資源論研究 B
			○	○	○		○	○	○	企業論研究 A
			○	○	○		○	○	○	企業論研究 B
			○	○	○		○	○	○	中小企業論研究 A
			○	○	○		○	○	○	中小企業論研究 B
			○	○	○		○	○	○	国際経営論研究 A
			○	○	○		○	○	○	国際経営論研究 B
			○	○	○		○	○	○	経営戦略論研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営戦略論研究 B
			○	○	○		○	○	○	経営管理論研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営管理論研究 B
	○	○	○		○	○	○	組織行動論研究 A		
	○	○	○		○	○	○	組織行動論研究 B		
	会計	○	○	○		○	○	○	会計学研究 A	
		○	○	○		○	○	○	会計学研究 B	
		○	○	○		○	○	○	財務会計論研究 I A	
		○	○	○		○	○	○	財務会計論研究 I B	
		○	○	○		○	○	○	財務会計論研究 II A	
		○	○	○		○	○	○	財務会計論研究 II B	
		○	○	○		○	○	○	国際会計論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	国際会計論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	管理会計論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	管理会計論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	会計監査論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	会計監査論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	企業評価論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	企業評価論研究 B	
	○	○	○		○	○	○	原価計算論研究 A		
	○	○	○		○	○	○	原価計算論研究 B		
	商学	○	○	○		○	○	○	マーケティング論研究 I A	
		○	○	○		○	○	○	マーケティング論研究 I B	
		○	○	○		○	○	○	マーケティング論研究 II A	
		○	○	○		○	○	○	マーケティング論研究 II B	
		○	○	○		○	○	○	商品開発論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	商品開発論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	消費者行動論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	消費者行動論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	サービス・マーケティング論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	サービス・マーケティング論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	マーケティング・サイエンス研究 A	
		○	○	○		○	○	○	マーケティング・サイエンス研究 B	
		○	○	○		○	○	○	流通・マーケティング論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	流通・マーケティング論研究 B	
		○	○	○		○	○	○	交通論研究 A	
		○	○	○		○	○	○	交通論研究 B	
		情報	○	○	○		○	○	○	経営統計学研究 A
			○	○	○		○	○	○	経営統計学研究 B
	○		○	○		○	○	○	情報管理論研究 A	
	○		○	○		○	○	○	情報管理論研究 B	

科目区分		研究領域	課程の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)						科目等		
			成城大学大学院 (DP1) (DP2) (DP3) (DP4)				経済学研究科/経営学専攻 (dp1) (dp2) (dp3)				
			○	○	○		○	○	○	経営情報論研究A	
			○	○	○		○	○	○	経営情報論研究B	
		金融	○	○	○		○	○	○	証券市場論研究A	
			○	○	○		○	○	○	証券市場論研究B	
			○	○	○		○	○	○	財務管理論研究A	
			○	○	○		○	○	○	財務管理論研究B	
			○	○	○		○	○	○	金融システム論研究A	
			○	○	○		○	○	○	金融システム論研究B	
		研究指導	経営	○	○	◎	○	○	○	○	経営学演習A
				○	○	◎	○	○	○	○	経営学演習B
○	○			◎	○	○	○	○	経営組織論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	経営組織論演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	経営史演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	経営史演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	人的資源論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	人的資源論演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	企業論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	企業論演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	国際経営論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	国際経営論演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	経営戦略論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	経営戦略論演習B		
○	○			◎	○	○	○	○	経営管理論演習A		
○	○			◎	○	○	○	○	経営管理論演習B		
会計	○			○	◎	○	○	○	○	会計学演習A	
	○			○	◎	○	○	○	○	会計学演習B	
	○		○	◎	○	○	○	○	財務会計論演習ⅠA		
	○		○	◎	○	○	○	○	財務会計論演習ⅠB		
	○		○	◎	○	○	○	○	財務会計論演習ⅡA		
	○		○	◎	○	○	○	○	財務会計論演習ⅡB		
	○		○	◎	○	○	○	○	管理会計論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	管理会計論演習B		
	○		○	◎	○	○	○	○	企業評価論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	企業評価論演習B		
商学	○		○	◎	○	○	○	○	マーケティング論演習ⅠA		
	○		○	◎	○	○	○	○	マーケティング論演習ⅠB		
	○		○	◎	○	○	○	○	マーケティング論演習ⅡA		
	○		○	◎	○	○	○	○	マーケティング論演習ⅡB		
	○		○	◎	○	○	○	○	商品開発論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	商品開発論演習B		
	○		○	◎	○	○	○	○	消費者行動論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	消費者行動論演習B		
	○		○	◎	○	○	○	○	交通論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	交通論演習B		
情報	○		○	◎	○	○	○	○	経営統計学演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	経営統計学演習B		
	○		○	◎	○	○	○	○	情報管理論演習A		
	○		○	◎	○	○	○	○	情報管理論演習B		
	○		○	◎	○	○	○	○	経営情報論演習A		
金融	○		○	◎	○	○	○	○	経営情報論演習B		
	○	○	◎	○	○	○	○	財務管理論演習A			
	○	○	◎	○	○	○	○	財務管理論演習B			
	○	○	◎	○	○	○	○	証券市場論演習A			
			○	○	◎	○	○	○	○	証券市場論演習B	

論文 (または課題研究) ・最終試験 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ 修士論文 (または課題研究) ・最終試験

成城大学大学院のDP

経済学研究科のdp

(DP1) 専門分野と関連分野に関する、高度な専門知識を有していること。(知識)

(dp1) 問題を発見し、探究するために必要な経営学の専門知識を身につけていること。

(DP2) 専門分野のなかから自らの研究課題を発見し、計画的、継続的、系統的に探究できる能力を身につけていること。(思考力・判断力)

(dp2) 資料収集能力、プレゼンテーション能力、さらに幅広い柔軟な視点に立ったコミュニケーション能力を有していること。

科目区分	研究領域	課程の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)						科目等
		成城大学大学院 (DP1) (DP2) (DP3) (DP4)				経済学研究科/経営学専攻 (dp1) (dp2) (dp3)		
		(DP3) 専門分野の基本文献と関連文献を正確に理解することができ、自らの考えを論理的で説得力のある表現で展開できる能力を有していること。(技能・表現力)  (DP4) 人間や社会の諸問題に関心を持ち、他の人々と共に考え、自らの視野を広げる意欲を有していること。(主体性・多様性・協働性)						(dp3) 論文の形式および内容(論文構成・文献の網羅性・論理性)が整った修士論文、あるいは特定の課題における調査・分析・レビュー・実務的な問題解決などについて研究した成果をまとめた課題研究報告を作成する能力を有していること。

特に対応している：◎

対応している：○